

PHP自作発表

山下 暁大

システムについて

ダイビングリアルタイム生物マップ

スキューバダイビングをした際にみつけた生物の

投稿・閲覧をするSNS

ダイビングリアルタイム

生物マップ

作成背景/目的

ダイビングでの楽しみ方は人それぞれだが、その中でも特に生物写真を楽しむ方は多い。

しかし目的の生物を見つけるのはなかなか難しく、現地ダイビングサービスのHPやInstagram等の投稿を目安に探すしか無いのが現状である。

そのわずかな情報の中でもダイビングサービスのHPでは基本前日までの情報しかなかったり、Instagram等の投稿の場合は日付が定かではないものも多い。

生物によっては数日でいなくなってしまうものも少なくない為、情報を見てそのスポットに行ったとしても目的の生物がいないこともある。

そこでユーザー同士が実際に見た情報を投稿し、リアルタイムで生物の情報を共有できるSNSを作成する。

ターゲット

スキューバダイビングをしており、海の生物が好きな人。

システム説明

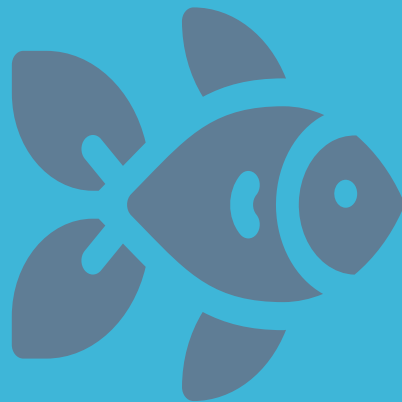
【一般ユーザー】

- アカウント新規登録、内容変更
- ログイン・ログアウト
- メール認証によるパスワードリセット
- 投稿、詳細表示、編集、削除
- 検索（一覧表示）
- 投稿へのコメント
- オリジナル機能「みつけた！」投稿
- いいね
- いいね一覧（自分がいいねした投稿）
- 通報

【管理者】

- 投稿の削除
- コメントの削除
- ユーザー一覧表示
- 通報一覧表示
- アカウント停止

デモンストレーション



システムの売り（オリジナリティ）

- みつけた！機能

投稿された生物情報に対して他のユーザーが、

「自分もみつけた！」ということを投稿できる機能。

この件数を投稿一覧、詳細画面などに表示することにより、

投稿内容の信憑性の高い投稿かどうかの判断材料となりうる。

不足機能や今後のシステム展望

- ソーシャルログイン、SNS連携（Instagram、Twitter、Google等）
- バッジ機能や称号機能等の追加
- 写真から生物の名前を質問する機能

今回の開発を通じての感想

- 設計から作成していく事でDBへの理解が深まった。
- ユーザーインターフェースを考えながら作成していくことで、ユーザーの視点に立って作っていくことの重要性を学んだ。
- その他色々な機能、デザインを手がけていくにあたり、自分自身のスキルの不足点が見受けられ、学ばべき課題を発見できた。